

学級活動（２）指導案

1. 日時・場所 令和3年11月17日（水） 13：30～14：15

2. 題材 「インターネットでも、よりよい関係を築こう」

イ よりよい人間関係の形成

学級目標

STAR

～積極的・高め合い・明るい・〇年〇組～

3. 題材について

（１）児童の実態

明るく活発な児童の多い学級である。最高学年としての意識をもち、下級生に対して思いやりをもって接する姿が様々な場面で見られる。6月から行っているたてわり班活動（1～6年生の異年齢集団活動）では、他学年との交流を深められるよう、毎回めあてを立て、達成に向けて話し合いを行ってきた。時間や場所、使用できる用具などの条件を確認し、GIGA 端末を活用しながら合意形成を図り、繰り返し話し合うことで、少しずつめあての達成に向けて行動する力が身についてきた。

学級目標を決める際には、学年目標の「自主・自立」「共生・共働」に込めた担任の思いを伝え、児童の思いを聞き取りながらまとめた。みんなで関わり合いながら成長していきたいという思いから、「STAR～積極的・高め合い・明るい・〇年〇組～」と学級目標を決定した。前期の終わりには、学級活動（３）の学習で、学級目標とこれまでの活動を照らし合わせながら振り返り、後期に向けての目標を一人一人が設定した。前期から定期的に自分の目標を確認して学校生活を送ったことで、達成に向けての意欲をもって行動することができてきている。後期も前期同様にめあてを意識しながら生活することで、学校生活をより充実したものにできるよう支援を続けている。

（２）題材設定の理由

4月から様々な場面で意識的に GIGA 端末を活用してきた。自分の思考を整理したり、友達との共同作業で考えを広げたりする経験を積み重ねたことで、GIGA 端末を鉛筆やノートと同様に、教具の一つとして慣れ親しんでいる。しかし、操作に慣れてきたがゆえに、GIGA 端末を使用する必要がない場面でも操作してしまったり、無意味な書き込みをしてしまったりする場面も見られている。また、夏休みに入る前から児童同士の SNS に関するトラブルが増えていることも課題として挙げられる。児童の話を見ると、自分本位の考えによる行動をしてしまったり、インターネットを介したコミュニケーションの危険性を軽視したりしていることが原因であることが分かった。また、対面を伴わないという SNS の特性から、誹謗中傷への規範意識が低下してしまっていることも原因の一つだと考えられる。互いの表情が見えず、音声を伴わないからこそ、より相手の気持ちに配慮したコミュニケーションが大切になるということを気付かせたいと思い、本題材を設定した。

インターネットの利用頻度によって、切実感に差が生じると考えられる。実際に起きたインターネットに関する出来事や、実際に SNS の利用経験がある児童のアンケート結果を示すことで、児童がインターネットのトラブルを身近な問題として捉えられるようにする。また、普段の友達との関わり方について振り返る時間を設けることで、相手を大切にしたいコミュニケーションをとろうとする意欲を高め、実践につなげたい。

4. 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったりふり返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
朝の時間	・インターネット上のやり取りについてアンケートに答える。	○インターネット上のやり取りについて、生活経験を想起できるよう声をかける。	アンケート (児童の意識を高めるための資料)	☆アンケートを記入し、自分自身のインターネットの使い方についてふり返り、解決のための見通しをもとうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉
朝の時間	・インターネットの特性について知る。	○インターネットならではの、よさや危険性について理解できるようにする。	インターネットの特性をまとめた資料	☆インターネットの特性について考え、よさや危険性について理解している。 【知識・技能】 〈発言・行動観察〉

(2) 本時の展開

①ねらい インターネット上のやり取りでもよりよい人間関係を築く方法について話し合い、自らの生活で実践できるようにする。

②展開

	児童の活動	○指導上の留意点	・資料	☆目指す児童の姿 【観点】 〈評価方法〉
導入 つかむ	1. アンケート結果やグラフを見て、自分たちの課題に気付く。	○インターネット上のやり取りで傷ついている人が増えていることを伝え、身近な話題として捉えられるようにする。	・対面と非対面のやり取りで傷ついた経験についてのアンケート (児童の意識を高めるための資料) ・インターネットで誹謗中傷された件数の推移を表したグラフ (児童の意識を高めるための資料)	
インターネットのやり取りでも友達を大切にするためのめあてを立てよう。				
展開 さぐる 見つける	2. インターネット上で他者を傷つけてしまう原因を考える。 ・直接相手の顔を見ないから、軽い気持ちで送ってしまう。 ・インターネット上だから、他の人にばれないと思っている。 3. インターネットを使った、よいコミュニケーションの方法について考える。 4. インターネット上でも友達を大切するために、どのようなことを意識するとよいか考え、話し合う。 ・まわりの考えに流されるのではなく、自分で正しいことを判断する。 ・相手の表情が見えないからこそ、より相手の気持ちを想像する。	○対面のコミュニケーションとの違いが明確になるよう、問い返しをする。 ○いつ、誰が加害者になってもおかしくないことを伝える。 ○正しくインターネットを利用しようとする意欲をもてるようにする。 ○ミライシードのオクリンクに、短い言葉で考えを書いて提出するよう伝える。場合によっては 児童の考えが広がるよう、意図的な指名をする。 ○実践可能なめあてが立てられるよう、具体的な行動になっているか問い返す。	・インターネットを使ったやり取りをして嬉しかった児童の経験をまとめた作文 (ねらいを焦点化するための資料)	☆インターネットを介した、よりよいコミュニケーションの方法について理解している。 【知識・技能】 〈観察、めあてカード〉

終末決める	5. 話し合ったことを参考にして、自分のめあてを決める。 ・メッセージを送る前に、内容を見直す。 ・楽しい時こそ、自分がやろうとすることが正しいか考えてから行動する。	○自己評価しやすい具体的なめあてを立てられるよう、声をかける。	・めあてカード (実践への意欲付けのための資料)	☆話し合ったことを参考にして、友達との関わり方や今後の自分の行動についてめあてを立てている。 【思考・判断・表現】 (めあてカード)
-------	---	---------------------------------	-----------------------------	--

③板書計画

インターネットでもよりよい関係を築こう		インターネットのやり取りでも友達を大切にするためのめあてを立て	
つかむ	さぐる	見つける	
アンケート結果	インターネットのやり取りで、他者を傷つける人が増えている理由	インターネットのやり取りでも、友達を大切にするためにできること	
嫌な思いをした事例			

(2) 事後の指導

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
11月17日～	・意思決定しためあてを意識して実践する。	○毎朝、自分が立てためあてを再確認する時間を作り、めあてを意識して生活できるようにする。	☆意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】 (観察、めあてカード)
11月25日 朝の会	・実践したことについてふり返る。	○めあてに向かって努力できた部分と、足りなかった部分を認識できるようにし、今後につなげられるようにする。	☆実践をふり返り、今後の学校生活や日常生活に生かそうとしている。 【主体的態度】 (めあてカード)

6. 資料

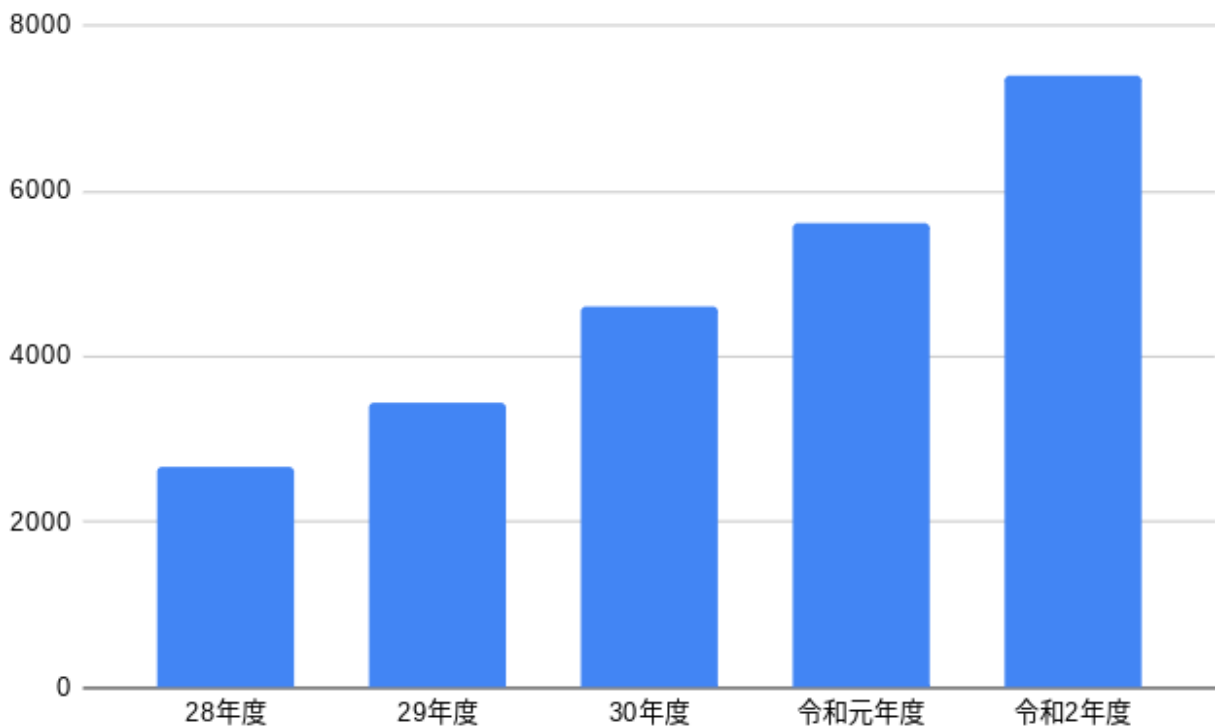
(1) 児童の意識を高めるための資料 (Google フォームを使用)

- ①自分の出席番号を選んでください。
- ②友達と**直接やり取りしている時**に嫌な思いをすることはありますか。
・よくある ・たまにある ・あまりない ・まったくない
- ③友達と**インターネットを通じてやり取りしている時**に嫌な思いをすることはありますか。
・よくある ・たまにある ・あまりない ・まったくない
- ④③で「ある」「たまにある」と答えた人に質問します。具体的にどんな時に、どんなことがありましたか。

(2) 児童の意識を高めるための資料② (文部科学省)

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(H28～R2)

(件) 「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。」と答えた児童の推移



(3) ねらいを焦点化するための資料 (Google フォームを使用)

インターネットで友達とやり取りしていて、嬉しかった経験を児童が発表する。

①あなたは自分の携帯電話を持っていますか。

- ・自由に使える携帯をもっている。
- ・キッズ携帯を持っている。
- ・持っていない。

②あなたは家でインターネットを使うことはありますか。

- ・ある ・たまにある ・ない

③②で「ある」「たまにある」と答えた人に質問します。

どんな機器でインターネットを使いますか。当てはまるもの全て教えてください。

- ・携帯電話 ・タブレット ・ゲーム機 ・テレビ
- ・パソコン ・その他【自由記述】

④インターネットを使って友達とやり取りしている時のことについて質問します。

友達からメッセージをもらって、うれしかった経験はありますか。

- ・はい ・いいえ

⑤④で「はい」と答えた人に質問します。それはどんな時にどんなメッセージをもらいましたか。

【自由記述】

(4) 実践への意欲付けのための資料

インターネットでも、よりよい関係を築こう

_____ 組 名前

☆自分のめあてを立てましょう！

--

このめあてを立てた理由

--

◎・・・できた、△・・・できなかった

日付	自己評価	一言コメント
18日(木)		
19日(金)		
24日(水)		
25日(木)		
26日(金)		

ふり返り（感じたこと、考えたことなどを書きましょう！）

--